

令和3年度
岐阜市環境基本計画 評価報告書



岐阜市役所庁舎北側写真（管財課提供）

令和3年10月11日
岐阜市環境審議会 環境基本計画評価部会

はじめに

岐阜市は、2018年3月に策定した「岐阜市環境基本計画（以下「計画」という。）」に基づき5つの施策体系のもと、様々な取り組みを推進しています。

本計画に掲げる各施策の取り組みを着実に実行し、成果を上げていくためには、客観的な立場から取り組みの進捗状況を点検・評価する仕組みが必要であり、こうした役割を担う岐阜市環境審議会では専門部会「環境基本計画評価部会（以下「評価部会」という。）」を設置し、毎年度、点検・評価作業を実施しています。

点検・評価作業は、市民の意見や取り組みの進捗状況などを把握するとともに、関係部署から提供された資料の精査やヒアリングなどを行なながら進め、このたび、2020年度の評価結果をとりまとめましたので報告します。

目 次

1 点検・評価方法 1

(1) 点検・評価の目的 1

(2) 点検・評価の体制 1

(3) 点検・評価の進め方 1

2 施策全体評価 2

(1) 計画全体の評価 2

(2) 市民アンケート調査、市民意識調査の結果 3

3 施策別評価 6

施策2 地球環境を保全します 6

施策4 ごみを減量・資源化します 12

施策5 環境意識を高めます 16

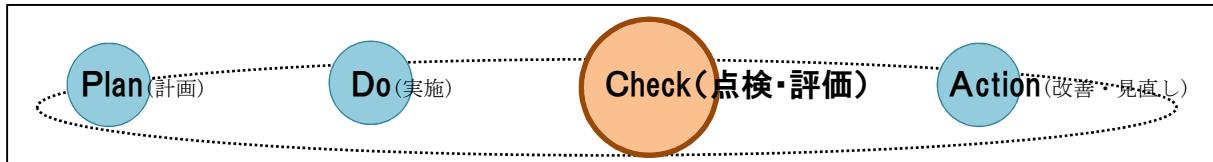
4 評価結果の公表	25
(1) 評価結果の公表	25
(2) 評価結果への対応	25
5 環境白書の改善等	25
(1) 環境白書に関する意見	25
(2) 環境白書の改善内容等	25
6 令和2年度の評価結果への対応	26
7 資料	28
(1) 点検・評価作業の経緯	28
(2) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会委員名簿	28
(3) 岐阜市環境審議会委員名簿	29
(4) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会設置要領	30

1 点検・評価方法

(1) 点検・評価の目的

- ・環境基本計画に掲げる各施策の進捗状況を把握し、市に対し施策の推進、改善、見直し等を求めていくため、市環境審議会で点検・評価を実施します。

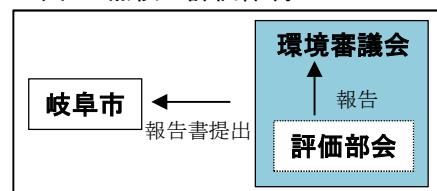
■図-1 P D C A サイクル



(2) 点検・評価の体制

- ・市環境審議会に専門部会「環境基本計画評価部会」を設置し、点検・評価を実施します。
- ・点検・評価結果は、市環境審議会へ報告し、評価報告書として市へ提出します。

■図-2 点検・評価体制



(3) 点検・評価の進め方

- ・環境基本計画に掲げる5つの施策について、2022年度まで順次、点検・評価を実施します。(表-1 参照)
- ・施策1「生活環境を快適にします」並びに本計画の重点施策である施策2「地球環境を保全します」、施策3「生物多様性を保全します」、施策4「ごみを減量・資源化します」については期間内に2回の点検・評価を実施します。
- ・本計画の最重点項目に対応する総合的施策である施策5「環境意識を高めます」については毎年点検・評価を行います。
- ・関係各課とのヒアリングや市民アンケート、岐阜市環境白書などを参考に、点検・評価を実施します。
- ・施策全体及び指標別の点検・評価を行い、報告書として結果をとりまとめます。

■表-1 年度別評価対象施策一覧表

環境基本計画の施策	指標数	2018年度評価報告	2019年度評価報告	2020年度評価報告	2021年度評価報告	2022年度評価報告
施策1 生活環境を快適にします	16	○			○	○
施策2 地球環境を保全します	6		○	○		○
施策3 生物多様性を保全します	4		○		○	○
施策4 ごみを減量・資源化します	4	○		○		○
施策5 環境意識を高めます	9	○	○	○	○	○

2 施策全体評価

- 環境基本計画は、5つの施策で構成されており、それぞれを計画的に進めることが重要です。それらの取り組み状況や進捗状況は、市民の関心度や意識により確認され得るものであるため、環境に関するアンケート調査や意識調査の結果も参考にしました。

(1) 計画全体の評価

① 指標の達成状況一覧

施策名	目標年度	指標数	目標値達成指標数 () は達成率				
			2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
施策 1 生活環境を快適にします	2022 年度	16	11 (69%)	10 (63%)	13 (81%)		
1 大気環境の保全		5	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)		
2 水・土壤環境の保全		5	3 (60%)	3 (60%)	4 (80%)		
3 騒音・振動・悪臭の規制		3	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)		
4 環境美化の推進		3	2 (66%)	2 (66%)	3 (100%)		
施策 2 地球環境を保全します	2022 年度	6	2 (33%)	2 (33%)	2 (33%)		
施策 3 生物多様性を保全します	2022 年度	4	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)		
施策 4 ごみを減量・資源化します	2022 年度	4	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)		
施策 5 環境意識を高めます	2022 年度	9	5 (56%)	3 (33%)	2 (22%)		
1 ひとづくり・まちづくりの推進		6	5 (83%)	3 (67%)	2 (33%)		
2 環境重点地区の設定		3	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		
合 計		39	19 (49%)	17 (44%)	19 (49%)		

② 評価

- 計画策定後 3 年目であるが、達成した指標数は 19 で達成率は 49% と、昨年度と比較すると 5 ポイント増加している。残り 2 年の計画期間中に、未達成の指標について目標を達成できるよう努力してもらいたい。

(2) 市民アンケート調査、市民意識調査の結果

① 市民アンケート調査結果

- 市（環境部）では、環境基本計画の指標の進捗状況や市民等の環境活動に対する関心度等を把握するため、毎年度、みんなの森ぎふメディアコスモス来場者及び、「岐阜市エコフェスタ※」来場者を対象にアンケート調査を実施しており、2020年度の調査結果は次のとおりでした。

※「岐阜市まるごと環境フェア」は令和元年度から「岐阜市エコフェスタ」へ名称を変更しました。

Q 1. 岐阜市環境基本計画を知っていますか

回答項目	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
知っている	19.8%	21.5%	16.7%	19.0%		
ぎふメディアコスモス	12.8%	17.0%	6.7%	13.0%		
岐阜市エコフェスタ	25.7%	25.5%	26.8%	24.3%		
名前は知っている	28.2%	31.7%	32.5%	33.2%		
ぎふメディアコスモス	28.8%	24.2%	24.6%	27.2%		
岐阜市エコフェスタ	27.8%	38.1%	40.3%	38.4%		
知らない	51.9%	46.8%	50.8%	47.9%		
ぎふメディアコスモス	58.4%	58.9%	68.7%	59.7%		
岐阜市エコフェスタ	46.5%	36.4%	32.9%	37.3%		

分析 「知っている」と回答した人の割合に対して、「知らない」と回答した人の割合が大きく、更なる啓発活動が必要である。

Q 2. 市の環境重点地区を知っていますか

回答項目	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
知っている	11.2%	10.6%	7.8%	11.1%		
ぎふメディアコスモス	5.9%	7.5%	4.6%	6.4%		
岐阜市エコフェスタ	15.8%	13.3%	11.0%	15.5%		
名前は知っている	19.0%	22.8%	22.8%	22.3%		
ぎふメディアコスモス	17.0%	16.8%	15.7%	19.1%		
岐阜市エコフェスタ	20.7%	27.9%	29.9%	25.3%		
知らない	69.7%	66.6%	80.7%	66.5%		
ぎふメディアコスモス	77.1%	75.8%	79.7%	74.5%		
岐阜市エコフェスタ	63.5%	58.8%	81.6%	59.2%		

分析 「知っている」と回答した人の割合に対して、「知らない」と回答した人の割合が大きく、更なる啓発活動が必要である。

Q 3. 生物多様性の言葉の意味を知っていますか

回答項目	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
知っている	40.1%	35.3%	37.5%	48.3%		
ぎふメディアコスモス	35.6%	35.7%	38.3%	49.9%		
岐阜市エコフェスタ	43.8%	35.0%	36.8%	47.0%		
名前は知っている	27.0%	32.8%	37.2%	27.3%		
ぎふメディアコスモス	30.5%	33.3%	36.2%	24.6%		
岐阜市エコフェスタ	24.1%	32.4%	38.1%	29.8%		
知らない	32.9%	31.9%	25.3%	24.3%		
ぎふメディアコスモス	33.9%	31.0%	25.5%	25.5%		
岐阜市エコフェスタ	32.1%	32.6%	25.1%	23.2%		

分析 「知っている」「名前は知っている」と回答した人の割合が75.6%あり、認知度は浸透してきている。

	ぎふメディアコスモス 来場者	岐阜市エコフェスタ 来場者
Q 4. 環境学習をしていますか	2. 2 (n=345)	2. 8 (n=383)
Q 5. 自然を守る取り組みをしていますか	2. 9 (n=345)	3. 3 (n=383)
Q 6. 節電や省エネの取り組みをしていますか	3. 6 (n=345)	3. 9 (n=383)
Q 7. ごみ減量の取り組みをしていますか	3. 5 (n=345)	3. 8 (n=382)

※数値は、5点満点での全体の平均値。()は有効回答者数

分析 市民の節電や省エネ、ごみ減量の取り組み度は高い。

Q 8. 今年実施した環境活動を教えてください

取組内容	ぎふメディアコスモス 来場者	岐阜市エコフェスタ 来場者
電気をこまめに消した	241 人	266 人
雑がみを集めた	190 人	235 人
資源分別回収に参加した	194 人	166 人

※複数回答可としているため、回答者数を記載。

Q 9. 岐阜市エコフェスタに満足できましたか (岐阜市エコフェスタ来場者を対象に実施)

回答項目	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
とても満足	111 人 (28. 4%)	134 人 (29. 8%)	110 人 (27. 5%)	78 人 (20. 7%)	
満足	183 人 (46. 8%)	231 人 (51. 3%)	197 人 (49. 3%)	172 人 (45. 7%)	
普通	96 人 (24. 6%)	78 人 (17. 3%)	88 人 (22%)	121 人 (32. 2%)	
不満	1 人 (0. 3%)	5 人 (1. 1%)	3 人 (0. 8%)	4 人 (1. 1%)	
とても不満	0 人 (0. 0%)	2 人 (0. 4%)	2 人 (0. 5%)	1 人 (0. 3%)	

分析 「とても満足」「満足」と回答した人の割合が大きく減少しており、岐阜市エコフェスタの規模縮小が原因と考えられる。

② 市民意識調査結果

・市（企画部）では、市総合計画の指標の進捗状況を把握するとともに、市民の意識や行動等を多面的に把握するため、住民基本台帳登録者（満15歳以上）の中から無作為抽出した3,000人を対象に「市民意識調査」を実施しており、2020年度の調査結果（環境関係）は次のとおりでした。

※各設問のnは2020年度の有効回答数を表しています。

※各選択肢の比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、すべての選択肢の比率の合計が100%とならない場合があります。

Q. お住まいの周辺の環境は美しく保たれていますか n=1,648

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
感じる	20.5%	17.3%	18.9%		
どちらかといえば感じる	50.1%	50.0%	51.9%		
どちらともいえない	10.7%	12.6%	11.3%		
どちらかといえば感じない	10.5%	11.7%	10.9%		
感じない	8.2%	8.4%	7.0%		

分析 「感じる」「どちらかといえば感じる」との回答が70.8%あり、市民の環境美化活動や環境保全活動などにより、美しいまちが保たれている。

Q. 金華山や長良川などの自然の豊かなまちだと思いますか n=1,653

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
思う	45.4%	45.6%	51.6%		
どちらかといえば思う	45.6%	45.9%	41.1%		
どちらともいえない	4.7%	4.2%	4.1%		
どちらかといえば思わない	2.0%	2.6%	1.8%		
思わない	2.3%	1.7%	1.4%		

分析 「思う」「どちらかといえば思う」との回答が92.7%あり、多くの市民が自然の豊かなまちだと認識している。

Q. 省エネやごみの減量などの環境に配慮したまちだと思いますか n=1,653

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
思う	9.2%	8.2%	8.8%		
どちらかといえば思う	34.8%	34.1%	34.9%		
どちらともいえない	25.7%	26.1%	27.2%		
どちらかといえば思わない	17.4%	18.2%	18.3%		
思わない	12.9%	13.3%	10.8%		

分析 「思う」「どちらかといえば思う」との回答が43.7%ある一方で、「どちらかといえば思わない」「思わない」との回答が29.1%ある。

Q. まちなみや景観の美しいまちだと思いますか n=1,647

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
思う	14.7%	14.6%	16.0%		
どちらかといえば思う	43.1%	43.9%	45.7%		
どちらともいえない	19.5%	19.9%	18.8%		
どちらかといえば思わない	13.9%	11.9%	11.5%		
思わない	8.9%	9.7%	8.0%		

分析 「思う」「どちらかといえば思う」との回答が61.7%あり、まちなみや景観の美しいまちだと認識されている。

3 施策別評価

- ・2020年度は「1点検・評価方法」に基づき、施策2「地球環境を保全します」、施策4「ごみを減量・資源化します」、施策5「環境意識を高めます」を評価の対象としました。
- ・点検・評価にあたっては、施策ごとに設定している指標の進捗結果、2020年度の主な事業の取り組み状況について、関係各課からのヒアリングを実施しました。
- ・現況値の達成状況は、「達成」は○、「近づく」は○、「中間・横ばい」（基準値と比較して±10%までの増減）は△、「遠ざかる」は×と評価しています。

施策2 地球環境を保全します

1 地球温暖化対策の推進

<指標総括>

指標達成率 33%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況				
			目標値と比較して				
			2018年度	2019年度*	2020年度	2021年度	2022年度
2-1-1	市域における温室効果ガス排出量	196.4万t-CO ₂ (2014年度)	178.2万t-CO ₂ (2020年度)	○ (194.7万t-CO ₂) (2016年度)	○ (189.8万t-CO ₂) (2017年度)	○ (186.6万t-CO ₂) (2018年度)	
2-1-2	ぎふ減CO ₂ ポイント制度参加者数	2,303人	増加	◎ (3,519人)	◎ (3,362人)	△ (2,112人)	
2-1-3	森林施業率	4.8%	増加	×	△ (3.5%)	×	
2-1-4	市内に導入された太陽光発電設備容量	92,824kW	107,019kW	◎ (114,665kW)	◎ (124,380kW)	◎ (131,891kW)	
2-1-5	市公共施設等の温室効果ガス排出量	71,525t-CO ₂	62,526t-CO ₂	○ (68,611t-CO ₂)	○ (67,925t-CO ₂)	○ (64,911t-CO ₂)	
2-1-6	市が使用する公用車の温室効果ガス排出量	1,582t-CO ₂	1,559t-CO ₂	△ (1,752t-CO ₂)	△ (1,672t-CO ₂)	◎ (1,484t-CO ₂)	

※2020年度の電気の二酸化炭素排出係数が未発表のため 2019年度の係数を使用し算出

評価部会からの意見

- ① 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により減CO₂ポイント制度への参加者が減少しているが、それによって市民の環境意識が低下しているわけではないので、今後も継続して環境意識を高める努力をしてもらいたい。
- ② ぎふ減CO₂ポイント制度の参加者減少については、手続きの面倒さが原因であるため、PDFデータによる申し込み等手続きの簡略化を検討してもらいたい。

(2) 個別指標の達成度と関連事業

指標 2-1 市域における温室効果ガス排出量【評価：○】

指標	基準値 (2014 年度)	現況値※ (2018 年度)	目標値 (2020 年度)	250.0 200.0 150.0 100.0 50.0 0.0	196.4 194.7 190.0 186.6 178.2 基 準 値 目 標 値	
	196.4 万 t-CO ₂	186.6 万 t-CO ₂	178.2 万 t-CO ₂			
指標の見方	市域の各部門から排出される温室効果ガスの年間総排出量					
分析	基準年である 2014 年度と比較すると 2018 年度は 9.8 万 t-CO ₂ 減少しているものの目標の達成に向けて、更なる取組が必要である。					

※2018 年度は速報値

【本市の部門別二酸化炭素排出量】

部門	排出量 (万 t-CO ₂)				
	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度※
全部門	190.0	186.7	188.2	183.4	177.7
エネルギー起源					
産業部門 (小計)	32.9	29.9	29.9	29.8	26.3
製造業	25.6	22.7	23.8	23.5	18.9
建設業・鉱業 農林水産業	7.3	7.2	6.2	6.4	7.4
民生家庭部門	60.9	61.5	63.7	58.9	58.2
民生業務部門	31.7	30.8	31.2	31.2	30.0
運輸部門 (小計)	58.7	59.3	58.5	58.6	57.1
自動車	57.7	58.2	57.4	57.6	56.1
鉄道	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0
非エネルギー起源					
廃棄物分野	5.7	5.2	4.9	4.9	6.1

小数点以下第 2 位を四捨五入しているため合計値が合わないことがあります。※2018 年度は速報値

指標 2-2 ぎふ減CO2ポイント制度参加者数【評価：△】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2020年)	目標値 (2022年度)	増加 目標値	
	2,303人	2,112人	増加		
指標の見方	ぎふ減CO2ポイント制度の年間参加者数				
分析	2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、参加するとポイントが付与される出前講座を中止したり、規模を縮小したりしたこともあり、2016年度から参加者が191人減少した。応募者獲得のための更なる取組が必要である。				

◇『ぎふ減CO2（げんこつ）ポイント制度』とは

電気・ガス・水道の使用量削減や、省エネ家電や低燃費自動車の購入、バス乗車カードayucaへのチャージなど、二酸化炭素（CO₂）排出量を減らす取り組みを行うことでポイントを貯め、貯めたポイントで「もっと省エネ啓発品」が当たる抽選に応募できる制度。

⇒家庭部門、運輸部門からの二酸化炭素（CO₂）の削減を図り、「ライフスタイルの低炭素化」を推進することを目的とする。



【ぎふ減CO2ポイント制度の実績】

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
参加者数（人）	2,303	2,279	3,519	3,362	2,112
二酸化炭素削減量（t）	114.6	93.6	158.2	163.5	157.3

◇『ぎふ減CO2（げんこつ）ポイント制度』参加者を増やす取り組み

- ・インターネットから応募できるシステムを構築（2016年度）



ぎふ減CO2マイページに会員登録し、「ポイント・CO2確認と応募」ページから応募し、当選後に証拠となる検針票などを事務局に提出する。
(詳細についてはパンフレット参照)

【マイページからの応募状況】

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
WEB応募数（件）累積	143	173	301	347	332
年間応募数（件）累積	854	1,029	1,496	1,413	949
全体に占める割合	16.7%	16.8%	20.1%	24.6%	35.0%

- ・広報ぎふ、岐阜バス車内広告に掲載
- ・出前講座への参加者などに紹介

指標 2-3 森林施業率【評価：×】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年度)	目標値 (2020 年度)	増加 目標値	
	4.8 %	2.9 %	増加		
指標の見方	民有林において、間伐等の保育を行った面積の割合（過去 5 年の平均）				
分析	樹木の生育不足等の影響により森林施業率が減少しているものの、森林経営計画の対象森林面積が増加しているため、今後増加することが予想される。				

◇森林施業とは

森林組合等が定める森林経営計画に基づき、植栽、下刈り、除伐、間伐、伐採など森林に対する人為的な働きかけのこと。樹木が計画通り生育していない場合は、次年度以降に施業を行う。

◇森林経営計画とは

「自らが森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林」を対象として、林業工程を含めた森林の施業及び森林の保護について作成する計画で「5 年を 1 期」としてまとめられている。

区分	面積
総土地面積	20,360ha
森林面積	6,053ha
国有林面積	220ha
民有林面積	5,833ha

資料：第 13 次長良川地域森林計画書

指標 2-4 市内に導入された太陽光発電設備容量【評価：◎】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	目標値	
	92,824kW	131,891kW	107,019kW		
指標の見方	市内に導入された太陽光発電設備容量（経済産業省資源エネルギー庁公表）				
分析	2020 年度は基準年である 2016 年度から 39,067kW 増加しており、目標を達成している。今後も、本市の恵まれた太陽光を活用した再生エネルギーを推進していく。				

◇住宅用太陽光発電システム普及率の算出方法

国の太陽光発電システムへの補助事業が平成 25 年度に終了したことに伴い、岐阜市では平成 27 年度から経済産業省資源エネルギー庁のホームページで公表されている市町村別導入状況の数値から算出している。

◇岐阜市が実施する家庭部門の補助事業

・ゼロエネルギー住宅普及促進補助事業

ゼロエネルギー住宅とは、外壁や窓の高断熱化、高効率な照明・空調・給湯設備、蓄電池などの導入によりエネルギー消費量をできるだけ少なくしたうえで、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、年間のエネルギー消費量の収支を±0 にする住宅のこと。本市では 2017 年度から、市内のゼロエネルギー住宅を購入した方に対し、購入費用の一部を補助している。



出典：資源エネルギー庁ウェブサイト

指標 2-5 市公共施設等の温室効果ガス排出量【評価：○】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0 t-CO ₂	
	71,525t-CO ₂	64,911t-CO ₂ *	62,526t-CO ₂		
指標の見方	市公共施設等における温室効果ガスの年間排出量				
分析	基準年である2016年度と比較すると、温室効果ガス排出量は6,614t-CO ₂ 減少した。新型コロナウイルス感染症の影響で閉館していた施設が多かったこともあり、エネルギー使用量が減ったためだと考えられる。引き続き取組を行っていく。				

※2020 年度の電気の二酸化炭素排出係数が未発表のため 2019 年度の係数を使用し算出

◇環境アクションプランとは

市役所自らが環境にやさしい事業者・消費者となるための率先実行計画のこと。1997 年 4 月に策定し、5 年ごとに見直しを行っている。

また、2017 年 3 月に、「地球温暖化対策実行計画」(事務事業編)として環境アクションプランを改定し、「民生業務部門」及び「運輸部門」における温室効果ガスの排出量やその他の環境配慮項目の削減目標などを掲げている。



環境アクションプランの対象施設

市長部局に属する各部課、上下水道事業部、消防本部、教育委員会（学校含む）

議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、農業委員会、各行政委員会事務局等

また、上記機関が所管する指定管理者制度施設についても対象とする。

【エネルギー源別使用量（市役所全体）】

小数点以下四捨五入

発生対象項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電気 (kWh)	117,728,032	118,114,473	118,439,533	117,343,120	117,490,515
都市ガス (m ³)	3,530,930	3,474,277	3,421,773	3,449,847	3,385,262
L P ガス (m ³)	115,070	123,989	124,407	118,600	107,322
A 重油 (L)	1,246,600	1,750,751	1,453,460	1,450,655	1,514,529
灯油 (L)	1,098,458	1,021,660	941,875	859,572	859,393
軽油 (L)	25	9,853	25,852	26,255	29,054

【エネルギー源別二酸化炭素排出量（市役所全体）】

単位：kg-CO₂

発生対象項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電気	57,098,096	56,222,489	54,126,867	53,625,806	50,638,412
都市ガス	7,626,809	7,504,438	7,391,030	7,451,669	7,312,165
L P ガス	686,970	740,214	742,709	708,044	640,709
A 重油	3,378,287	4,744,534	3,938,878	3,931,274	4,104,373
灯油	2,735,160	2,543,933	2,345,268	2,140,335	2,139,889
軽油	65	25,420	66,698	67,738	74,959
合計	71,525,386	71,781,029	68,611,449	67,924,865	64,901,507

※2020 年度の電気の二酸化炭素排出係数が未発表のため 2019 年度の排出係数により算出

指標 2-6 市が使用する公用車の温室効果ガス排出量【評価：◎】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	2,000 1,600 1,200 800 400 0 (t-CO ₂)	
	1,582t-CO ₂	1,484t-CO ₂ ※	1,559t-CO ₂		
指標の見方	市が使用する公用車からの温室効果ガス排出量				
分析	基準年である 2016 年度と比較すると、温室効果ガス排出量は 98t-CO ₂ 増加している。全体的に走行距離が減ったことが一因と考えられる。引き続き取組を行っていく。				

※2019 年度の電気の二酸化炭素排出係数が未発表のため 2018 年度の係数を使用し算出

【エネルギー源別使用量（公用車）】 小数点以下四捨五入

発生対象項目	2016年度	2017年度	2018年度※2	2019年度	2020年度
ガソリン (L)	330,091	334,903	354,223	331,708	304,874
軽油 (L)	278,088	234,353	324,383	315,920	277,475
車両用天然ガス (m ³)	336	30	0	0	0
車両LPガス (L)	37,737	29,776	32,523	29,945	15,312
電気※1 (kWh)	750	675	764	549	475

※電気自動車の使用量は、走行距離とカタログの燃費 (JC08 モード) から算出

【エネルギー源別二酸化炭素排出量（公用車）】 小数点以下四捨五入

単位: kg-CO₂

発生対象項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ガソリン	765,812	776,975	821,797	769,562	707,307
軽油	717,467	604,632	836,908	815,074	715,886
車両用天然ガス	726	65	0	0	0
車両LPガス	57,360	45,259	49,435	45,517	23,274
電気	364	321	349	237	205
その他ガス※	39,896	42,716	43,403	41,884	37,711
合計	1,581,624	1,469,968	1,751,893	1,672,274	1,484,383

※その他ガスとは、メタン、一酸化二窒素、フロン類のこと

※自動車走行のためガソリン、軽油、LPガスを使用することにより、メタン、一酸化二窒素が排出され、カーエアコンの使用によりフロン類が排出される

施策4 ごみを減量・資源化します

1 廃棄物の対策

＜指標総括＞

指標達成率 25%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況				
			目標値と比較して ◎達成／○近づく／△中間・横ばい／×遠ざかる				
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
4-1-1 ごみ焼却量	129,362t	116,000t	△ (129,923t)	△ (127,584t)	△ (125,559t)		
4-1-2 エコ・アクションパートナー協定締結店数	46店	増加	△ (43店)	◎ (47店)	◎ (47店)		
4-1-3 一人あたりの雑がみ回収量	1,387g／人	3,700g／人	○ (1,422g／人)	○ (1,389g／人)	△ (1,320g／人)		
4-1-4 ごみ減量に取り組む市民意識	64.3%	増加	◎ (64.6%)	◎ (68.6%)	△ (59.3%)		

評価部会からの意見

- ◎ 雑がみの回収量について、資源分別回収の中止などの影響もあり、回収量の減少も仕方がないことであるが、今後この指標を継続するか検討する必要がある。
- ◎ ごみ焼却量においては、生ごみ量が減少しないため、経費的視点の導入指標を入れて啓蒙してはどうか。
- ◎ ごみ焼却量は減少しているものの、人口減 1.4%を差し引くとわずか 1.5%である。更なる対応策が必要である。
- ◎ 3 R の中の Reduce に力点を置いた現状施策になっているため Reuse として、マイバック 利用のような施策を増やす方向性を薦める。
- ◎ 学校で実施されている児童生徒による雑がみ回収を市内全域に広げてもらいたい。

(2) 個別指標の達成度と関連事業

指標 4-1-1 ごみ焼却量【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年度)	目標値 (2022 年度)	(t)	
	129,362t	125,559t	116,000t		
指標の見方	選別、粉碎処理後の可燃物、し尿処理後の残さの焼却等を含む				
分析	ごみ焼却量は 2018 年度から徐々に減少している。				

■ ごみ焼却量の推移

	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
人口	412,254 人	408,970 人	408,109 人	406,407 人
焼却量	129,362t	129,923t	127,584t	125,559t
一人あたりのごみ焼却量	314kg/人・年	318kg/人・年	313kg/人・年	309kg/人・年
ごみ総排出量	145,401t	142,834t	133,566t	130,236t
生活系ごみ	101,320t	98,862t	90,040t	98,567t
事業系ごみ	44,081t	43,972t	43,181t	38,519t
最終処分埋立量	14,735t	14,724t	14,446t	14,690t

※2020 年度の数字については暫定値

指標 4-1-2 エコ・アクションパートナー協定締結店数【評価：○】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年度)	目標値 (2022 年度)	(店)	
	46 店	47 店	増加		
指標の見方	エコ・アクションパートナー協定を締結した店舗数				
分析	エコ・アクションパートナー協定を締結している店舗が増加し目標を達成している。				

◇ エコ・アクションパートナー協定とは

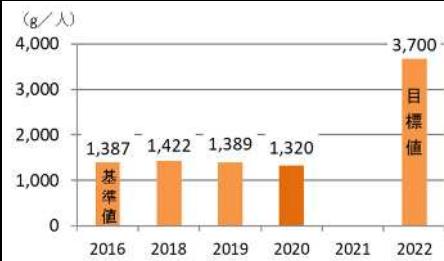
2007 年度から容器包装廃棄物等の減量及び資源化に取り組む小売事業者と「エコ・アクションパートナー協定」を結び、協働してごみ減量・資源化を推進している。

【事業内容】

- ・レジ袋の削減、マイバックの普及
- ・簡易包装の推進
- ・容器包装廃棄物の再資源化の推進

指標 4-1-3 一人あたりの雑がみ回収量【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年度)	目標値 (2022 年度)	年間の雑がみ回収量／人口	分析		
	1,387g/人	1,320g/人	3,700g/人				
指標の見方	年間の雑がみ回収量／人口						
分析	雑がみ分別に対する意識が向上し、回収量は増加している。						



【雑がみ回収量の推移】

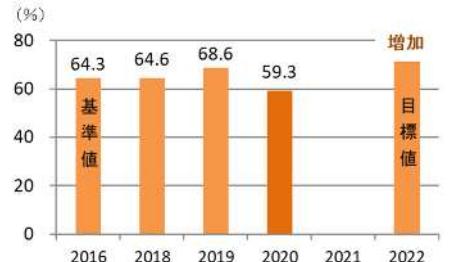
	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
回収量	573t	582t	567t	536t
増加率(H28 比較)	-	+1.6%	+1.0%	+6.5%
1 人あたりの雑がみ回収量	1,387g	1,422g	1,395g	1,319g

【2020 年度実施事業】

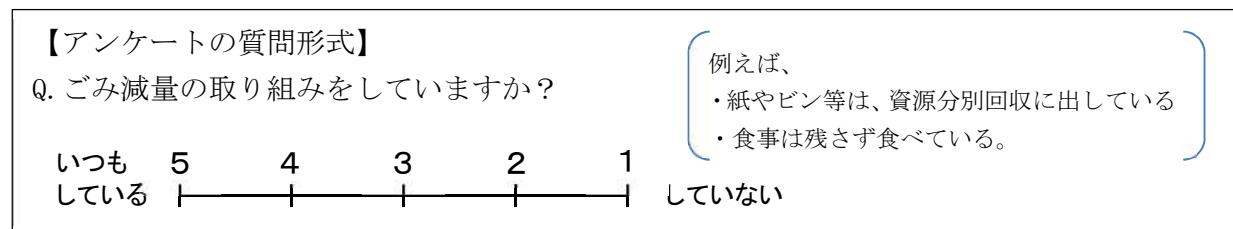
- ・第 2 回岐阜市エコフェスタでの雑がみ回収
- ・雑がみ回収スクール（厚見小学校、鷺山小学校、柳津小学校）

例年、地域イベントでの雑がみ回収、雑がみ集めてグランプリ等実施していましたが、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

指標 4-1-4 ごみ減量に取り組む市民意識【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年度)	目標値 (2022 年度)	(%) 	
	64.3%	59.3%	増加		
指標の見方	環境に関するアンケート調査において、5 段階評価※の「いつもしている」又は「ときどきしている」と回答した人の合計の割合				
分析	市内在住のアンケート回答者のうち、59.3%の方がごみ減量の取り組みを「いつもしている」又は「ときどきしている」と回答しており、ごみ減量に取り組む市民意識が低下している。				

※「いつもしている」「ときどきしている」「どちらでもない」「あまりしていない」「していない」の5段階で評価します。



【2020 年度アンケート調査結果】

選択肢	岐阜市エコフェスタ 来場者	ぎふメディアコスモス 来場者
「1」と回答した人	15 人 (3.9%)	20 人 (5.8%)
「2」と回答した人	24 人 (6.3%)	42 人 (12.2%)
「3」と回答した人	86 人 (22.5%)	109 人 (31.6%)
「4」と回答した人	141 人 (36.9%)	109 人 (31.6%)
「5」と回答した人	116 人 (30.4%)	65 人 (18.8%)
計	382 人	345 人

施策 5 環境意識を高めます

<指標総括>

1 ひとづくり・まちづくりの推進

指標達成率 33%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況					
			目標値と比較して ◎達成／○近づく／△中間・横ばい／×遠ざかる					
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
5-1-1	環境に関する取り組みを実施する人の割合	73.8%	増加	◎ (77.0%)	◎ (77.9%)	△ (70.4%)		
5-1-2	岐阜市まるごと環境フェアの満足度	75.2% (2017年度)	増加	◎ (81.1%)	◎ (76.8%)	× (66.5%)		
5-1-3	出前講座への参加者数	3,681人	増加	◎ (6,586人)	◎ (6,456人)	◎ (5,340人)		
5-1-4	総合的な学習の時間における環境教育の実施校数	50校	増加	△ (48校)	△ (48校)	△ (47校)		
5-1-5	こどもエコクラブへの参加人数	1,009人	増加	◎ (1,348人)	◎ (1,456人)	◎ (1,327人)		
5-1-6	環境基本計画の認知度	19.8%	増加	◎ (21.5%)	× (17.6%)	△ (19.0%)		

2 境重点地区の設定

指標達成率 0%

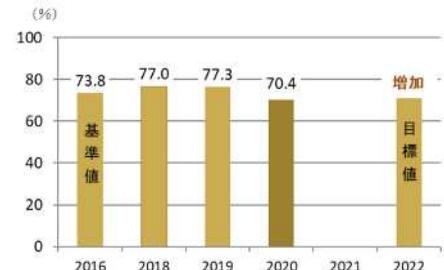
指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況					
			目標値と比較して ◎達成／○近づく／△中間・横ばい／×遠ざかる					
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
5-2-1	環境重点地区の認知度	11.2%	増加	△ (10.6%)	× (8.0%)	△ (11.2%)		
5-2-2	環境重点地区で環境保全活動などを行う団体数	11団体	増加	△ (11団体)	△ (11団体)	△ (11団体)		
5-2-3	中心市街地居住人口	9,271人	増加	△ (8,989人)	△ (8,912人)	△ (8,882人)		

評価部会からの意見

- ◎ 岐阜市エコフェスタのメインイベントで実施していたアンケート調査を今後はどのように実施するのかを検討してもらいたい。
- ◎ 「総合的な学習の時間」について市からの働きかけが十分に行われているが、今後時間数は減っていくと思われる所以、この指標を続けていくかは検討が必要である。
- ◎ 学校だけでなく、公民館等で実施する講座も含めて指標とすることを検討してもらいたい。
- ◎ フェアやフェスタなどのイベントは回を重ねると参加者が減少するので、数値目標を設定しないことも考えるべきである。
- ◎ 環境重点地区の選定について、長く同じ場所を選定することは良いことではあるが、その選定理由を明確にし、説明できるようにしてもらいたい。
- ◎ 環境重点地区の認識が広がっていないことは、ウェブの掲載整備が整っていないことが原因と考えられる。ウェブやパンフレットなど紹介方法を改善し、市民へ重点地区をアピールするべきである。

(2) 個別指標の達成度と関連事業

5-1-1 環境に関する取り組みを実施する人の割合【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	
	73.8%	70.4%	増加	
指標の見方	環境に関するアンケート調査において、環境に関する取り組みのいずれかで 5 段階評価の「いつもしている」又は「ときどきしている」と回答した人の合計の割合。			
分析	アンケート調査の結果、70.4%の方が環境に関する取り組みを実施していると回答しており、昨年度と比較して 6.9%減少している。			

◇環境に関するアンケート調査とは

毎年みんなの森ぎふメディアコスモス来場者及び岐阜市エコフェスタ来場者を対象とした環境に関するアンケート調査を実施している。(岐阜市エコフェスタについては、18 ページに掲載)

【アンケートの質問形式】

- Q. 自然を守る取り組みをしていますか
 Q. 節電や省エネの取り組みをしていますか
 Q. ごみ減量の取り組みをしていますか

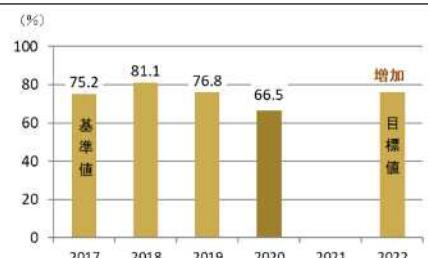
いつも
している 5 4 3 2 1
していない

※3 つの質問に 1 つでも 4 又は 5 と回答した人の割合を指標をしています。

【2020 年度アンケート調査結果】

質問項目	岐阜市エコフェスタ来場者	ぎふメディアコスモス来場者
Q. 自然を守る取り組みをしていますか	170 人 (44.4%) /n=383	96 人 (27.8%) /n=345
Q. 節電や省エネの取り組みをしていますか	255 人 (66.6%) /n=383	196 人 (56.8%) /n=345
Q. ごみ減量の取り組みをしていますか	257 人 (67.1%) /n=383	174 人 (50.4%) /n=345

5-1-2 岐阜市まるごと環境フェア※の満足度【評価：×】

指標	基準値 (2017 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	(%) 	
	75.2%	66.5%	増加		
指標の見方	岐阜市まるごと環境フェア※で行うアンケート調査において、5段階評価の「とても満足」又は「満足」と回答した人の合計の割合。				
分析	岐阜市エコフェスタ来場者のうち市内在住 376 人からの回答の結果、66.5%の方が「とても満足」又は「満足」と回答しているが、2019 年度から大きく下がっており、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの規模縮小が原因と考えられる。				

※「岐阜市まるごと環境フェア」は、2019 年度から「岐阜市エコフェスタ」へ名称を変更しました。

【アンケートの質問形式】

Q. 岐阜市エコフェスタに満足できましたか

とても満足 満足 普通 不満 とても不満

【2020 年度アンケート調査結果】 回答項目	とても満足	満足	普通	不満	とても不満
岐阜市エコフェスタ来場者 (n=376)	78 人 (20.7%)	172 人 (45.7%)	121 人 (32.2%)	4 人 (1.1%)	1 人 (0.3%)

◇岐阜市エコフェスタとは

市民一人ひとりが、環境に关心を持ち、意識を高め、循環型社会の形成や地球温暖化対策の防止に向け自らが取り組むことを目的とした市民参加型の環境イベント「岐阜市まるごと環境フェア」は、実行委員会主催のもと、2002 年度から毎年開催してきました。2019 年度からは「岐阜市エコフェスタ」としてイベントをリニューアルし、全ての参加者が何かを触ったりやってみることのできる体験型イベントを目指して開催しています。

【2020 年度テーマ】

体験しよう！エコはじめ～コロナ時代をともに生きる～

【開催内容】

講演会・シンポジウム、エコドライブ講習会、親子でソーラーカー工作、ダンボールコンポスト講座、廃油で石けんをつくろう、フードドライブ、各種団体体験ブース、子どもポスターコンクール入賞作品展示、など



第 2 回エコフェスタの様子
(岐阜市環境部撮影)



第 2 回エコフェスタちらし

5-1-3 出前講座への参加者数【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2020年)	目標値 (2022年度)	柱状図	
	3,681人	5,340人	増加		
指標の見方	環境に関する出前講座への参加者数				
分析	2020年度に実施した出前講座への参加者数は5,340人であり、2019年度から減少している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月から6月中の出前講座が中止となったことが原因と考えられる。				

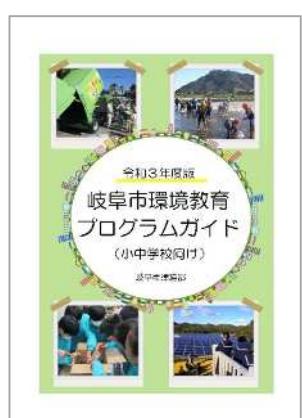
【2020年度実施した環境に関する出前講座一覧】

講座名	担当課	開催数(回)	参加者数(人)
岐阜市の水環境	環境保全課	3	122
長良川ってどんな川？ 他	環境保全課	5	316
冬の省エネと暖かい暮らし	低炭素・資源循環課	3	54
環境にやさしい暮らしをしましょう	低炭素・資源循環課	3	220
環境マネジメントと環境経営	低炭素・資源循環課	2	57
雑がみ講座・雑がみを資源分別回収に出そう	低炭素・資源循環課	15	1,189
ダンボールコンポスト講座 生ごみをたい肥にしてみませんか？	低炭素・資源循環課	11	121
プラスチック製容器包装実践講座	環境一課	43	1,464
総合的な環境教育（小学校6校）	環境部各課	12	1,014
総合的な環境教育（中学校2校）	環境部各課	8	783
合計		105	5,340

参考：水生生物調査（環境保全課）8回、640人

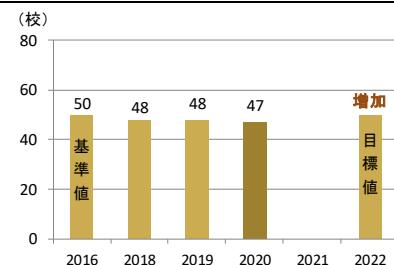
◇環境教育プログラムガイド

- 環境部が実施する環境に関する出前講座などを「岐阜市環境教育プログラムガイド」として取りまとめ、市内小中学校へ配布し活用を依頼。
(令和3年度版岐阜市環境教育プログラムガイドの29ページから36ページを参照)



5-1-4 総合的な学習の時間における環境教育の実施校数【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	(校)	
	50 校	47 校	増加		
指標の見方	総合的な学習の時間において環境教育を実施する小中学校数				
分析	市内小中学校 68 校のうち 47 校で実施されているが、基準年より 3 校減っているため、より積極的な働きかけを行い、実施校を増加させる必要がある。				



◇『総合的な学習の時間』とは

変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるなどをねらいとする。(文部科学省ホームページより)

◆総合的な学習の時間において環境教育に取り組む学校数（2020 年度）

<学年別実施状況（小学校）>

学年	実施校数
3 年生	9 校
4 年生	19 校
5 年生	14 校
6 年生	4 校
特別支援	7 校

<学年別実施状況（中学校）>

学年	実施校数
1 年生	8 校
2 年生	3 校
3 年生	2 校
特別支援	6 校

- 市内小学校では、46 校中 35 校が総合的な学習の時間の中で環境学習に取り組んでおり、4 年生が最も多い。
- 市内中学校では、22 校中 12 校が総合的な学習の時間の中で環境学習に取り組んでおり、1 年生が最も多い。

◇総合的な環境教育

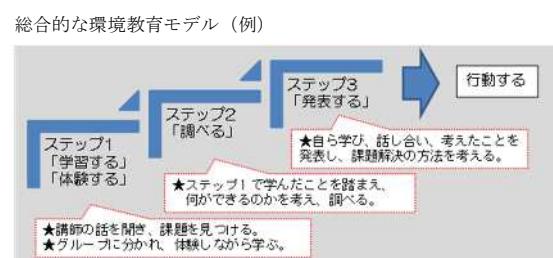
市内の小中学校と協働で、本市が実施している学習メニューを組み合わせ、「総合的な学習の時間」を活用した環境教育を実施しています。

2020 年度は市内小中学校 8 校で実施しました。

（詳しくは令和 3 年度版環境教育プログラムガイド 29 ページから 42 ページに掲載。）

◇子ども環境白書

子どもたちが環境について気軽に学べるように岐阜市環境白書を基に「子ども環境白書」を作成しています。子ども環境白書では、「自然のこと（生物多様性のこと）」「地球温暖化のこと」「ごみ減量・資源化のこと」をわかりやすく解説しています。



指標 5-1-5 こどもエコクラブへの参加人数【評価：◎】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)
	1,009 人	1,327 人	増加
指標の見方	市内を拠点として活動するこどもエコクラブへの参加人数		
分析	市内のこどもエコクラブ 34 クラブ、1,327 人が地域の環境保全活動に参加しており、2019 年度と比較して減少しているものの、基準値を上回っており目標を達成している。		

△こどもエコクラブとは

環境省が 1995(平成 7)年から始めた幼児(3 歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

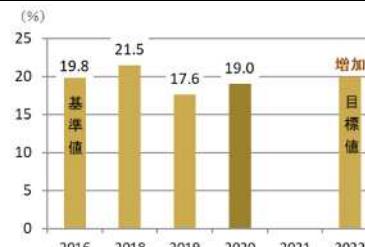
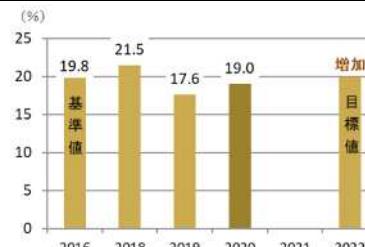
子どもたちが地域で主体的に行う環境活動、環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。

登録クラブには、活動・学習支援ツールの配布、賠償責任保険の加入などの支援があります。(令和 2 年度版環境白書本編の 122、123 ページに掲載)



[公益財団法人 日本環境協会ホームページより]

5-1-6 環境基本計画の認知度【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	(%) 
	19.8%	19.0%	増加	
指標の見方	環境に関するアンケート調査による認知度			
分析	アンケート調査の結果、環境基本計画を知っていると回答した方の割合が 19.0% となっており、前年度より増加しているものの、より積極的な広報が必要である。			

【アンケートの質問形式】

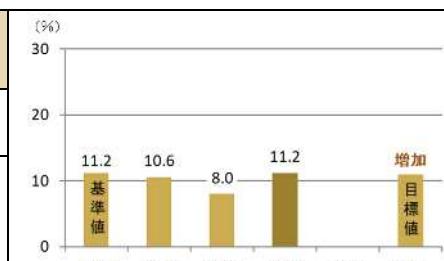
Q. 岐阜市の環境を守るため、自然との共生・共存や地球温暖化対策、ごみ減量などの取り組みをまとめた「岐阜市環境基本計画」を知っていますか？

知っている 名前は知っている 知らない



回答項目	ぎふメデイアコスモス(n=345)	岐阜市エコフェスタ(n=383)
「知っている」と回答した人	45 人 (13.0%)	93 人 (24.3%)
「名前は知っている」と回答した人	94 人 (27.2%)	147 人 (38.4%)
「知らない」と回答した人	206 人 (59.7%)	143 人 (37.3%)

指標 5-2-1 環境重点地区的認知度 【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	(%) 
	11.2%	11.2%	増加	
指標の見方	環境に関するアンケート調査による認知度			
分析	年 2 回のアンケート調査により 728 人が回答し、11.2%の方が「知っている」と回答しており、基準値を超えていないものの昨年度より 3.2%増加している。			

◇ 『環境重点地区』とは

岐阜市環境基本条例第 9 条に基づく「環境の保全及び創出について重点的に取り組む地区」のこと で、環境基本計画で設定することとしており、環境に配慮した「まちづくり」に繋がるものであります。第 4 次環境基本計画では、自然環境が特に豊かな地区を保全するため、そして低炭素のまちづくりを推進するため、以下の地区を環境重点地区に設定し取り組みを行うこととしています。

■ 環境重点地区の区域



【アンケートの質問形式】

Q. 岐阜市の特に豊かな自然をそのまま保護する地区や、岐阜市の自然が少ないため自然環境を創り出す地区を定めた「環境重点地区」を知っていますか？

知っている 名前は知っている 知らない

回答項目	ぎふメデイアコスモス (n=345)	岐阜市エコフェスタ (n=402)
「知っている」と回答した人	16 人 (4.6%)	44 人 (10.9%)
「名前は知っている」と回答した人	54 人 (15.7%)	120 人 (29.9%)
「知らない」と回答した人	275 人 (79.7%)	238 人 (59.2%)

環境重点地区		環境配慮対策	
生物多様性 保全タイプ	①長良川区域、 ②金華山区域、 ③百々ヶ峰区域	豊かな生物多様性を保全する区域	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性を保全することを最優先とします 開発を行う場合は、影響を最小限にするよう配慮します
低炭素都市 創造タイプ	④中心市街地区域	低炭素都市のまちづくりを推進する区域	<ul style="list-style-type: none"> 集約型市街地の形成により、生活や交通によるエネルギー利用の効率化を図ります

指標 5-2-2 環境重点地区で環境保全活動などを行う団体数【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	(団体)	
	11 団体	11 团体	増加		
指標の見方	生物多様性保全タイプの区域内において環境保全活動などを行う団体の数				
分析	自然環境保全団体は増えていないものの、多くの市民が自主的に自然環境の保全・創造活動を行っている。				

【自然環境保全活動団体】(岐阜市自然環境の保全に関する条例第 21 条の規定により承認された団体)

対象団体	活動場所
達目洞自然の会	達目洞（金華山麓）
十時会	金華山国有林
金華山サポートーズ	金華山国有林
ボランティア「風と土の会」	岐阜市竹林広場公園
NPO 法人 ぎふし森守クラブ	ながら川ふれあいの森等
NPO 法人 長良川環境レンジャー協会	長良川中流域
日本野鳥の会 岐阜	岐阜県内全域
NPO 法人 森と水辺の技術研究会	岐阜県内各所
NPO 法人 エヌエスネット	岐阜市内
NPO 法人 ふれあいの森自然学校	ながら川ふれあいの森等
大洞の里山つくろう会	大洞地区

※自然環境保全活動団体の詳しい活動内容は、令和 2 年度版岐阜市環境白書（本編）の P. 124、125 ページに掲載

◇ 『自然ふれあい地域ビジョン』とは

平成 19 年 3 月に、市民との協働による自然環境保全のあり方を示す「自然ふれあい地域ビジョン」を策定しました。

同ビジョンは「地域の自然は地域の誇り！」を合言葉に「自然ふれあい活動」の支援を通して、地域をはじめ、学校や団体、有識者、事業者等と連携し、それぞれが担うことができる役割を果たし、本市の自然を次世代に引き継ぐことを目的として策定した計画です。

◇ 『ぎふネイチャーネット』とは

また、「ぎふネイチャーネット」とは、岐阜市の身近な自然を周知し、未来へ引き継ぐための情報ツールとなることを目指して立ち上げた自然・環境活動情報サイトです。金華山、達目洞、大洞、山県北野地区などの岐阜市の自然環境の情報や、市内で活動する自然環境保全活動団体の紹介や活動予定も発信しています。



指標 5-2-3 中心市街地居住人口【評価：△】

指標	基準値 (2016 年度)	現況値 (2020 年)	目標値 (2022 年度)	図	
	9,271 人	8,882 人	増加		
指標の見方	低炭素都市創造タイプ（中心市街地）における居住人口				
分析	基準値より人口は減少しているが、高島屋南地区の再開発も開始するとともに民間マンションが完成したことから、居住人口の増加が期待できる。				

◇低炭素都市創造タイプ（中心市街地）とは

環境重点地区の中心市街地区域を集約型市街地の形成や、公共交通ネットワークによって、「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりに取り組み、便利で暮らしやすく、地球環境にもやさしい低炭素都市へのまちづくりを図っています。

中心市街地とは、「岐阜駅北地区」及び「柳ヶ瀬通周辺地区」、新たな集客拠点を形成する「つかさのまち」を核とする約 155ha であり、3 期中心市街地活性化基本計画区域でもあります。

また、「中心市街地活性化基本計画」及び「岐阜市都市計画マスターplan」で示す中心市街地は、「都心拠点区域（中心拠点区域）」として、集約型市街地の形成を積極的に図る区域位置づけられています。

※2018 年 3 月に 3 期中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成 30 年 4 月～平成 35 年 3 月）を策定。

■環境重点地区的区域

■中心市街
(3 期中心市街地活性化基本計画より)

◇市街地の整備事業

- ・つかさのまちに「新庁舎建設事業」が 2018 年 4 月に工事を開始。
- ・「岐阜駅東地区第一種市街地再開発事業」が 2019 年 1 月に完成。
- ・「ライオンズ岐阜マークスフォート整備事業」が 2019 年 3 月に完成。
- ・「高島屋南地区第一種市街地再開発事業」が 2019 年 3 月に工事を開始。

4 評価結果の公表

(1) 評価結果の公表

- ・計画の進捗状況及び岐阜市の取組内容を多くの市民に理解してもらい、環境に配慮した行動を促すことは非常に大切であることから、積極的に広報してもらいたい。

(2) 評価結果への対応

- ・全体評価及び施策評価ごとに付した意見を基に、改善や見直しを行うとともに、その対応状況を適宜環境審議会に報告してもらいたい。

5 環境白書の改善等

(1) 環境白書に関する意見

- ・環境白書及び子ども環境白書は、岐阜市の環境の状況及びその取組についてを市民に周知する有効な冊子であるため、広報ぎふなどを活用して積極的に広報してもらいたい。
- ・環境白書は印刷製本費がかかっており、その内容を多くの市民に周知するためにも、ホームページに分割版を掲載するなどしてWebを活用し、子どもたちがインターネットを利用した際に見やすくしてもらいたい。

(2) 環境白書の改善内容等

- ・環境白書への掲載内容について、岐阜市の取組状況だけでなく、市民や団体等の取組事例について詳しく掲載し、市民へ理解してもらい、環境へ配慮した行動を促すことも必要である。

6 令和2年度の評価結果への対応

(1) 施策2の評価結果について

- ◎ 樹木の生育の遅れにより森林施業率が下がるのは仕方がない面もある。
- ◎ 森林施業率をそのまま評価するより、森林施業の面積を評価しても良いと思う。

⇒担当課へ次期計画の指標について相談するとともに、次期計画の指標を検討する際に、いただいた意見を検討部会へ報告します。

- ◎ 市の努力によって削減できる、公共施設のエネルギー使用量と公用車のエネルギー使用量について、率先して努力してもらいたい。

⇒新庁舎への移転後も、環境アクションプランぎふに従ってより一層努力していきます。

(2) 施策3の評価結果について

- ◎ 生物多様性の認知度をアンケートで調査することは見直すべき。

⇒ 次期計画策定の際には、アンケート内容を含めて見直します。

- ◎ 自然環境保全活動団体数の活動以外に自治会や地元の協議会等で実施している清掃活動についても拾い上げて評価したほうが良い。

⇒ 環境基本計画においては、「生物多様性の保全」を目的とした活動を対象としており、自治会などの清掃活動とは区別して評価しています。自治会などの清掃活動についても生物多様性に繋がる大切な取り組みであることから、今後取組状況を調査し、次期計画策定の際には指標として評価できるのかを検討します。

- ◎ 生物多様性シンポジウムは専門性が高いため認知度を上げる活動としてはそぐわない。もっとわかりやすい内容の取組が必要である。

⇒ これまでのシンポジウムでは生物多様性保全の周知啓発の導入として、本市の取り組みの周知及び関心の高い層へのアピールを中心に実施してきました。今後はより市民に親しみやすい内容を意識し、市民が楽しく岐阜市の自然に親しみ、生物多様性やその恩恵を感じられるようなシンポジウムを検討します。

- ◎ 自然環境保全活動団体について、詳細に活動内容等を記載してもらいたい。

⇒ 会員数を追加するとともに、環境白書において自然環境保全活動団体の具体的な活動内容を紹介しています。

(3) 施策5の評価結果について

⑦ アンケートは、広く市民から意見を聴取できるよう（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも）対面以外の方法を検討するべき。

⑦ アンケートの質問項目は、目的をもって具体的な質問とするほうがよい。

⑦ 計画の認知度やイベントの満足度を質問項目とするのは見直すべき

⇒ 次期計画策定までに、指標の素案及びアンケートの方法、質問項目等を検討します。

⑦ 出前講座を自宅でスマートフォンを使って受講できるようにしてもらいたい。

⇒ ダンボールコンポストの紹介動画や雑がみの紹介動画を作成し、市ホームページで掲載しています。

⑦ 出前講座は、企業とも協力し、体験型の講座に力を入れるべきである。

⇒ (公財) 古紙再生促進センターの協力による紙すき体験を取り入れた雑がみ講座やプラスチック製容器包装の実践講座など、体験して学ぶ講座の実施に取り組んでいます。今後も、企業やNPOなどと連携を図り、環境に関して取り組むきっかけとして、効果的な体験型講座を実施し、より多くの方に参加してもらえるようにしていきます。

⑦ 環境重点地区を啓発するために、看板の設置等を検討するべきである。

⇒ 環境重点地区の啓発方法については、次期計画策定の際に新たな重点地区を設定しますので、合わせて検討します。

⑦ 中心市街地の居住人口だけを指標として評価することはふさわしくないと思う。

⇒ 次期計画策定の際には他の指標を検討します。

7 資料

(1) 点検・評価作業の経緯

◇岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会

回数・開催日	審議内容等
第1回 令和3年7月8日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の点検・評価方法の進め方について ・環境基本計画の施策評価について 　　施策4「ごみを減量・資源化します」 　　施策5「環境意識を高めます」¹ひとづくり・まちづくりの推進
第2回 令和3年8月27日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・前回部会のまとめについて ・令和3年度岐阜市環境基本計画評価報告書（案）について ・環境基本計画の施策評価について 　　施策2「地球環境を保全します」 　　施策5環境意識を高めます²環境重点地区の設定 ・令和3年度版「岐阜市環境白書」について
第3回 令和3年9月24日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回部会について ・第2回部会について ・令和3年度岐阜市環境基本計画評価報告書（案）について

(2) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会委員名簿

(委員区分毎五十音順)

区分	所属等	氏名	備考
1号委員 学識経験者	岐阜大学流域圏科学研究中心	児島 利治	部会長
2号委員 各種団体等	長良川環境レンジャー協会	坂井田 節	副部会長
	岐阜市生活学校	杉山 秀子	
5号委員 公募委員	公募	田中 小百合	
	公募	辻本 和雄	

(3) 岐阜市環境審議会委員名簿

(委員区分毎五十音順)

区分	所属等	氏名	備考
1号委員 学識経験者	岐阜大学 流域圏科学研究センター	児島 利治	
	岐阜薬科大学	酒井 英二	
	岐阜大学 社会システム経営学環	三井 栄	会長
2号委員 事業者、環境保全団体 その他環境の保全及び 創出にかかわる団体の 関係者	岐阜市小中学校長会	青木 秀樹	
	生活協同組合 コープぎふ	藤田 朋子	
	岐阜市自治会連絡協議会	笠井 和美	
	岐阜市生活学校	杉山 秀子	
	長良川環境レンジャー協会	坂井田 節	
	岐阜商工会議所	内藤 哲男	副会長
3号委員 関係行政機関の職員	岐阜県	太田 雅賀	
4号委員 市議会議員	岐阜市議会	江崎 洋子	
5号委員 公募に応じた市民	公募	田中 小百合	
	公募	辻本 和雄	
	公募	山口 博美	

(4) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会設置要領

(設置)

第1条 岐阜市環境基本計画（以下「計画」という。）の推進状況について専門的に調査審議するため、岐阜市環境基本条例（平成18年岐阜市条例第61号。以下「条例」という。）第24条第8項の規定に基づき、岐阜市環境審議会（以下「審議会」という。）に環境基本計画評価部会（以下「部会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 部会の所掌事務は、次に掲げる事項を調査審議するものとする。

- (1) 岐阜市環境白書の内容に関する事項
- (2) 計画の推進状況の点検及び評価に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、計画の推進に関する事項

2 部会は、調査審議した結果を審議会に報告するものとする。

(組織)

第3条 部会は、委員6名以内をもって組織する。

2 委員は、条例第24条第9項の規定により、審議会の会長がこれを指名する。

(任期)

第4条 委員の任期は、部会の目的を達成するまでとする。ただし、審議会委員としての任期を超えることはできない。

(部会長及び副部会長)

第5条 部会には、部会長1人及び副部会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 部会長は、会議の議長を務め、会務を総理する。

3 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部会は、部会長が招集し、その議長となる。

2 部会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 部会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 部会長は、条例第25条第4項の規定により、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、説明を求め、又は意見を聴くことができる。

2 前項に基づき、委員以外の者を出席させる場合は、予算の範囲内で報償費を支払うものとする。

(庶務)

第8条 会議の庶務は、環境部環境政策課において行う。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成22年5月12日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。